

4年間の流れ 2025年度(予定) 変更になる場合があります

卒業に必要な単位:124単位

専門教育科目:70単位
 全学共通科目:32単位
 広域選択:22単位

■必修:32単位
 ■選択必修:8単位
 ■選択:30単位

	1年次	2年次	3年次	4年次
成長のプロセス	ネイティブ講師担当の「スピーチ・アンド・コミュニケーション」と「オーラル・イングリッシュ」によって実践的な英語運用能力を強化し、「英語演習」と「作品講読」で3年次から本格化する専門分野の研究において必要な基礎知識とリテラシーをじっくりと身につける。		多彩な特殊講義科目や演習科目のほか、自分の関心・興味に従って選択できる少人数の「3年次ゼミ」で深い専門知識と研究方法を学ぶ。	「4年次ゼミ」において3年次までの授業で学んだ研究をさらに深め、個人指導のもと4年間の学びの集大成である卒業論文に取り組む。
必修	<ul style="list-style-type: none"> 英語演習 ① スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ ② 英語学概論 	<ul style="list-style-type: none"> 作品講読 ③ スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ 英語史 英語表現法 ④ 	<ul style="list-style-type: none"> 3年次ゼミ 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業論文
選択必修		<ul style="list-style-type: none"> イギリス文学史Ⅰ イギリス文学史Ⅱ アメリカ文学史 	この中から2科目を選択します。	
選択		<ul style="list-style-type: none"> イギリス文学特講Ⅰ～Ⅴ アメリカ文学特講Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ 演劇特講(イギリス・アメリカ) ⑤ イギリス文学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅴ アメリカ文学演習Ⅰ～Ⅴ 	<ul style="list-style-type: none"> 演劇演習(イギリス・アメリカ) 時事英語 商業英語 ギリシャ語 ラテン語 	<ul style="list-style-type: none"> 外国文学 現代美術 ⑥ 英米思想史 日本文化史 翻訳演習 ⑦ 英作文演習 ⑨

1 英語演習

英米文学を原文で読むには高い英語力が求められます。聞く、話す、読む、書くの4技能を総合的に学習し、英語力の基礎を固めます。発音やプレゼンテーションの練習も行います。

4 英語表現法

日本人によく見られる英語表現の誤りを取り上げ、名詞、動詞、時制など項目別に講義します。日本語と英語の違いを理解し、正しい文法と語法を身につけ、自然な英語表現を学びます。

7 翻訳演習

単語力だけではできない翻訳。この講義では、後期の前半まで翻訳技法をじっくり身につけ、後半では論文の一部や短編の物語を翻訳。直訳ではなく、日本語らしい翻訳を目指します。

2 スピーチ・アンド・コミュニケーション

ネイティブ・スピーカーが講師となり、時事的なテーマをトピックにしてグループ・ディスカッションやプレゼンテーションを行います。ユーモアやジェスチャーについても理解を深めます。

5 演劇特講

ブロードウェイをはじめ、独自の発展を遂げたアメリカ演劇。それを代表する2人の作家の作品を、映像や英文テキスト、当時の時代背景などから読み解き、面白さを探ります。

8 英語学演習

現代英語の様々な特徴について理解を深めながら、ときには日本語や他言語との対照を行うことで、人間言語の個性や普遍性について考察します。

3 作品講読

易しい言葉で書かれたものから複雑な心理描写を含む作品まで、英語の短編小説を幅広く講読。物語の構成や会話の背景に潜む意味、主題の読み取りなど、基本的な読解力を身につけます。

6 現代美術

キュビズム、シュルレアリスム、ポップ・アートなど、20世紀以降の美術作品を鑑賞。技術革新やメディアの発達、環境問題など同時代の様相との関わりも含め、その変革をたどります。

9 英作文演習

大学卒業後、社会人として適切な英語表現を使えるようになるために、ビジネス文書の読解・作成や電話応対等の会話トレーニングを行います。また、3年次以降の研究活動に必要となる英語論文を読む力を鍛えながら、プレゼンテーションに役立つ表現を学びます。

卒業論文テーマ・研究課題例

- ジョン・スタインベック研究
- 『ロミオとジュリエット』から見る愛と死
- 日本語・英語・中国語の受け身文について～対照言語学的考察～
- イギリス階級社会の成り立ちと現状
- アメリカ映画におけるアジア人象
- ウィリアム・ワーズワースのカッコウと自然について
- ワイルド作品に見る自己犠牲
- 『緋文字』にみるピューリタニズム
- インド英語の特徴と差異
- A Study of The Mark on the Wall by Virginia Woolf
- "I'm fine, thank you. And you?" が定着した背景とあるべき姿
- キャッチコピーにおけるレトリックの効果

私の

1 Week Schedule [3年次]

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
前期	1					
	2		キャリア・プランニング	心理学の基礎		
	3			3年次ゼミ		
	4		現代美術			
	5					
	6					
後期	1					
	2		キャリア・プランニング			
	3		心と体を考える	3年次ゼミ		
	4		現代美術			
	5					
	6					

履修のポイント

ゼミの授業が1番好きで、目標達成のためにも欠かせません。この授業では、学生が主体となって現代英語の文法・語法について研究しています。自ら進んで考える力は、社会人として大切だと思います。

学びから得たこと

大学生生活を通じて、他者と行動する力や、自ら進んで考える力が身につきました。大学は、授業を受けるだけではなく、人との関わり方を学ぶ場所でもあると思います。例えば、ちょっとしたメールにも気遣いを、などいつでも相手がいることを考えて行動するようになりました。

Message

学びと経験を活かし、次は私自身が学生を支えたい。

中学生の頃から英文法に興味があり、高校では異文化理解の授業にも力を入れていました。ずっと英語学習を続けてきたので、本学科に入って、言語学を学ぶほうに決めていました。来年度から、国際教育に力を入れている大学の事務職員として勤務することが決定し、留学生の対応もできるようなTOEIC®や英会話の勉強も頑張っています。進路で悩んでいた時期もありましたが、教職員のみならずは真摯に話を聞いてくださるばかりですし、キャリアセンターで頂いたアドバイスが、就職活動で非常に役立ちました。学生ファーストの大学職員として活躍することを将来の目標に、次は、私自身が多くのチャンスを学生に提供できるよう、新入生オリエンテーションや食支援プロジェクトなどの学内アルバイトに参加した経験を活かして、学生を支えたいと思います。

鵜澤 七瑚さん
 英米文学科 4年
 千葉県立東金高等学校 出身

